

生徒と保護者のための

# 週刊 かわら版



## 卒業おめでとう

今年も、約四百名の生徒が次のステージに進んでいく。卒業は終わりではなく、次のステージへのスタートラインである。

「卒業」このことは、いつのころからか、芸能界ではグループを引退するときに使われるようになった。昔は、引退と解散とかいうことばを使っていたのだが、それらはおき、卒業おめでとう。卒業、英語では主に graduation という。ひとつひとつの階段を登っていくイメージが込められている。また、commencement という単語もある。これは、「新しい旅立ち」というイメージの単語である。一方、

### 英語の卒業という単語

commencement

旅立ち・始まりのイメージ

graduation

階段・段階のイメージ

日本語の卒業ということばには「終わり」のイメージがつきまとう。それは、「卒」という字に理由があるのかもしれない。漢字の「卒」は亡くなった人の衿(えり)をしかりと整えている姿を起源としている。そこから、「終わる」の意味が出てくる。さてゲーテが、次のようなことを言っている。「何事も初めは難しい、ということわざは、ある意味では真理かもしれないが、より一般的には、何事も初めは容易だ。最後の段階に登ることこそ一番難しく、これに登り得る人間は稀(まれ)だ、と言える」と。ひとつのステージを終え、「卒業」という区切りを迎えた今、次のステージの始まりは、難しいのだろうか、それとも易しいのだろうか。いずれにしても始めなければ、何も始まらないというのが現実である。

### 先見コーナー

- 2/25(木)○定期考査一週間前(部活練習中止・特別許可部除く)
- 2/26(金)○3年生出校日 ○課題研究発表会
- 2/27(土)○第5回原田学園理事長杯囲碁大会 9:00~15:30
- 2/28(日)○日商簿記検定
- 2/29(月)○同窓会入会式 ○賞状授与式 ○卒業式予行
- 3/01(火)○第55回卒業式 (在校生については代表のみ参加)
- 3/02(水)○学年末考査(予備日) 授業は午後まで実施
- 3/03(木)○学年末考査(~3/8)
- 3/09(水)○第8回自専攻科入学学力検査
- 3/12(土)○自専攻科新入生説明会 ○国公立大学入試(後期)
- 3/14(月)○全校朝会 ⇒ 体育館へ8:30 整列完了
- 3/15(火)○成績伝票提出日 ⇒ 全ての課題やノート大丈夫?
- 3/17(木)○進級判定会(午前授業)
- 3/18(金)○専攻科修了式
- 3/19(土)○新入生招集日
- 3/20(日)○春分の日 ○自専科二級・三級整備士国家試
- 3/21(月)○振替休日
- 3/24(木)○修了式
- 3/25(金)○生徒振替休日(8/31の分)
- 4/06(水)○平成28年度始業式

次のかわら版【34号】は3月4日(金)に発行の予定です。

#### 卒業式のご案内

卒業おめでとうございませう。三年生の保護者の皆様には、既にご案内のプリントを配布しております。要点のみを再掲いたします。

日時 3月1日(火)

開式 午前10時

閉式 正午予定

保護者の方々は9時10分~9時45分の間に会場にお入りください。

式場 本校体育館

駐車場 創価学会駐車場

スクールバスで次の時間帯に送迎いたします。

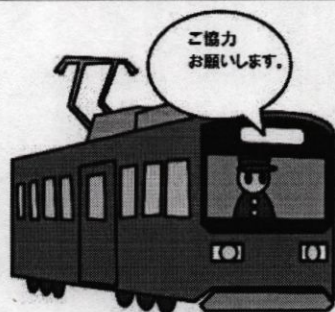
午前8時30分~9時10分

午後1時00分~1時30分 近年、ご家族で参列される方も増えてきました。座席は自由ですが、空席のないようにおつめください。

#### 交通局からのお願い

上荒田町に移転した交通局の来客者用駐車場は、軽自動車専用部分を含めて、15台分と限られています。三月から四月初旬にかけては、定期券の新規購入や更新手続きのために、窓口や駐車場が混雑することが予想されます。在校生に関しては、14日前から更新手続きが可能なため、早めの手続きをしていただきます。

い。来局の際はできるだけ、公共の交通機関を利用して欲しい。また、市役所前、谷山電停、イオン鴨池店、桜島営業所なども利用して欲しいとお願いです。ご協力をお願いします。



#### 清流

今の季節になると、3・11震災で卒業式が中止となった立教新座中・高校の渡辺憲司校長(当時)の式辞を思い出した。そのころ、大きな話題となった。3月14日の卒業式で読み上げる予定の式辞だったが、震災で中止となった。当時この式辞を目にして目頭が熱くなった記憶がある▼その中で、大学に行くこととは、「海を見る自由」を得るためではないかと伝えていた。震災前に書いた「海」と震災を経験した「海」の違いに多くの反響があった▼「海を見る自由」とは、言葉を変えたら「現実を直視する自由」だと言い換えてもいい。よりどころがない自由などあり得ない。風(たこ)は糸とつながること初めて自由を得る。自分を縛るものを大切にしたい。恋人だったり仕事だったり、人生そのときときで違う。自分の命を投げ出しても守りたいもの、それが自分を自由にしてくれる▼式辞はさらに続く。「恋人と友人は違う。恋愛の先にある結婚は喜びや悲しみ、貧しさをも共有しなければならぬ関係だ。一方で、友人は互いに孤独の時間を共有できる、理性と理性で付き合っていく関係だ」と▼「自由」を考えるうえで、示唆に富んだ式辞であった。